

## 6月季節の便り



### コルリ・オス：

オオルリは高木の梢で鳴きますが、コルリは低木の下の方を動いて鳴いているので見つけるのが大変で、これまでここで写真を撮った人は4人です。今年は運よく墓地の一角に現れましたが、写真が撮れる隙間が僅かで、葉が白い幕のように邪魔をした、ぼけた証拠写真的なものしか撮れませんでした。

### ヒレンジャク：

桜の実を食べに久しぶりの渡来とのことでしたが、桜の実のある繁った枝のところを動き回るので、残念ながらピントが決まっています。



### エナガ幼鳥：

5月季節の便りに載せたエナガの雛が大きくなり、自分で葉の裏の虫などを獲るようになりました。まだ赤い目をしています。

### コチドリ・子育て：

今年も焼却場跡地の砂利広場で営巣し3羽の雛を育てていました。カラスが飛来してきたので、親鳥は草花のあるところに近くにいた雛を呼び寄せじっと動かずにしており、片親が3倍もの大きさのカラスに特攻機のように突っ込んで行って追っ払っていました。





### ホンセイインコ・子育て：

松の木の枝を切り口に出来た洞に今年も営巣、3羽の雛を育てていました。洞の外の親は赤いアイリングですが、雛の目の周りは赤くありません。5月26日、27日、28日と順に巣立ちをしました。



### ヤマガラ・子育て：

産毛で白かった腹の方も茶色っぽくなってきました。羽根を震わせて親鳥に餌をせがんでいました。親の真似をして水浴びを始めました。



### ヤマガラ幼鳥：

ヤマガラが多磨霊園で営巣するのは数年ぶりで、巣立ちをして1週間くらいの幼鳥です。

### スズメ・子育て：

スズメもいつもこの水場に10数羽きており、この時期には幼鳥を連れて来ます。こちらの幼鳥も水浴びを始めました。

